



日本共産党文京区議会議員
まだち幹夫 週刊 通信
 2010年10月8日号 No.163

'みなさんをいつもまんやかに、

区議団控室：5803-1317（直通）
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》

ハローワークで行われたワンストップサービスには多くの方が足を運びました。



今週いっぱい、決算委員会が開催されました
**文京区として就労支援、相談をする窓口設置を
 ホームページ上でもいねいな案内を！**
 決算審査特別委員会が続いています。この間、いつかんにして要望している就労支援、とくに若年層の支援を区としても強めるべきとの質問をしました。
 区は、近くに日本一求人数が多く労働機関も併設するハローワークがあるから、区としての「窓口」は必要ないといっています。しかし、本当にこれでいいの？ ハローワークは23区内に10か所ありますが、新宿区でも豊島区でも台東区でも、区内に就労支援の相談窓口を設置しています。そして、「若年非就業者の保護者向け講座」（新宿）、「面接会事前セミナー」（板橋）など開催しています。

しかも文京区は、区のホームページで「就労支援」が見つけれません。「くらしガイド」から「仕事」へ、そこを開けると、「しかし「内職あつせん」と「ハローワーク」へのリンクだけ！ まったく不親切で（雇用や就労のことは国と東京都の仕事ですから）と言わんばかりです。
 総務省の7月の労働力調査では、15〜24歳の完全失業者数は50万人、9・1％と平均の2倍です。区として、まずは相談に乗る窓口の設置など、その姿勢を示すべきではないでしょうか。



まだ(受付)間に合います! 文京区後援会バスツアー

10月10日(日)
 常磐スパリゾート・ハワイアン

春の横須賀バスツアーにつづいての文京区日本共産党後援会主催のバスツアーが目前に迫りました。

秋の一日、ゆったりと楽しく、みなさんと過ごしたいと思います。まだ少し余裕がありますので、ご希望の方は事務所、または文京区後援会事務所(3812 8992)までお問い合わせください。参加費は6,800円です。

でっかいプールやお風呂が魅力です。



まだち日誌

- 2日 午前中、自分のポスターを町に張り出しました。壁に張らせていただくのに、今回から粘着テープでなくコンパクトな壁にやさしいものに変えました。ぜひ、ご協力ください。
- 午後、白山1丁目地域の建築説明会に。多くの方が生活を壊すような建築の見直しを要望しました。
- 3日 教育の森での消防団合同点検に参加しました。消防署と消防団の連携で初期消火が求められますが、訓練の成果が見えました。
- 4日 今週は、月、火、木と3日間の決算委員会審議と、最終日は昨年度の主要施策の確認に区内視察に行きました。質疑のための時間が足りません。十分な審議の保障が必要です。